

# 自主防災活動の多様性 についての一考察 —富山県を事例として—

人文地理学研究室  
11110166  
4年 柳澤彩



## もくじ

- I はじめに
  - 1. 問題の所在と既存の研究
  - 2. 研究目的
  - 3. 研究方法
- II 自主防災組織の活動実態
  - 1. 高岡市 1) 高岡市福田六家防災会 2) 高岡市鴨島町防災会
  - 2. 射水市 1) 射水市中伏木防災会 2) 射水市戸破地域振興会
  - 3. 富山市 1) 上袋防災会 2) 水橋新堀防災会
  - 4. 自主防災組織の活動実態からみる「地域的特徴」
- III 自主防災活動において地域的な特徴が生まれる要因
  - 1. 地域に特徴のある自主防災活動が生まれる要因
  - 2. 各自主防災組織の活動の特色
  - 3. 自主防災組織の類型化による分類と考察
- IV おわりに



## I はじめに

### 1. 問題の所在と既存の研究

・**自主防災組織**・・・自分たちの地域は自分たちで守るという自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織

・自主防災組織の役割

①日常的な活動(防災知識の普及・啓発、防災訓練)

②災害時の活動(情報収集・伝達、避難指示等)

自主防災活動の核＝「防災訓練」・・・①個別訓練、②総合訓練、

③体験イベント型訓練、④図上訓練



### 既存研究

自主防災組織の活動と地域活動・地域コミュニティについて言及した研究

・自主防災組織と日常的な地域活動の関連性から、活発な活動をしている組織の特徴を明らかにした(藤田ほか 2003)

・地域の防災力の強さを決める大きな要因のひとつとして、地域のコミュニティにおける人々の繋がりを挙げ、自治町内会の属性<sup>5)</sup>によって活動の活発さに差があり、ひいては地域コミュニティにおける人々の繋がりに影響するとした(岡山ほか 2006)

→各町内での自主防災活動の内容を比較した研究は少ない

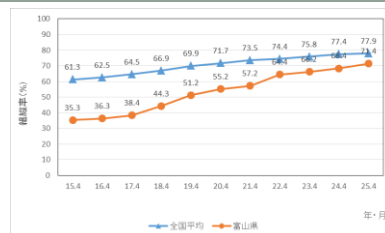
### 2. 研究目的



・富山県は常願寺川をはじめとして、黒部川・小矢部川・庄川など急流河川がいくつもある

・奥羽山断層帯や跡津川断層帯などの活断層が存在し、地震の可能性も否定できない

図1. 富山県を通る活断層



第2図. 自主防災組織組織率の推移(全国平均と富山県平均)

(富山県防災・危機管理課資料より作成)

・災害が起きにくいとされる富山県においても、自主防災組織の結成率は上昇している

・沿岸部や低地では水害に対する訓練  
 ・住宅密集地域では地震による家屋の倒壊や火災重視の訓練  
 ⇒地域によって活動実態がさまざまであると想定される

本研究では富山県富山市・高岡市・射水市を対象に災害が少ない県においても自主防災組織で活動が継続され活発に行われている地域の活動実態を調査する。そして、その活動内容が地域によって異なるのであれば自主防災活動の地域的な特徴は何によって生まれるのか、この要因について解明することを目的とする。

<想定要因>

①町内会の活動が積極的である、②町内の危険箇所を考慮している、③参加型で楽しさの含んだ活動をしている、④強力なリーダーシップを発揮する人がいる(藤田ほか 2003)

⑤自主防災組織の設立経緯(きっかけ)、⑥過去の災害これから起こる災害、⑦地域が罹災する危険の高い地形にある(消防庁 2011)

3. 研究方法

・自主防災組織に関しては、役員として中心となって動いているリーダーやメンバーに、組織について(結成のきっかけ・訓練・被害想定・資機材・課題・リーダーの考え等)聞き取りを行う

・各町内での自主防災組織の活動実態や地域的な背景を踏まえ、自主防災活動について地域による特徴が生まれる要因について考察を行う

・自主防災活動に地域的な特徴が生まれる要因について類型化⇒各自主防災組織の分類

## II 自主防災組織の活動実態

### 1. 高岡市 1) 高岡市福田六家防災会

第1表 福田六家の災害想定と自主防災組織の概要

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 組織名                 | 高岡市福田六家            |
| 浸水想定(m)             | 0.5~1.0            |
| 地震想定                | 6強                 |
| 津波想定(m)             |                    |
| 世帯数                 | 106世帯              |
| 人口                  | 350人               |
| 面積(m <sup>2</sup> ) | 294,714.80         |
| 高齢化率                | 25%                |
| 15歳未満人口(%)          | 14%                |
| 結成年                 | 2009年              |
| 経緯                  | 行政からの要請<br>万が一に備えて |

第3図 高岡市調査対象地域(福田六家・鴨島町)

・リュックを担いだ避難訓練  
 ・防災隊長A・・・2004年から町内会長を務める、2013年に防災士の資格を取得

### 2) 高岡市鴨島町防災会

第2表 鴨島町の災害想定と自主防災組織の概要

|                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 組織名                 | 高岡市鴨島町           |
| 浸水想定(m)             | 2.0~5.0          |
| 地震想定                | 6強               |
| 津波想定(m)             |                  |
| 世帯数                 | 58世帯             |
| 人口                  | 160人             |
| 面積(m <sup>2</sup> ) | 22,101.18        |
| 高齢化率                | 38%              |
| 15歳未満人口(%)          | 6.8%             |
| 結成年                 | 2011年            |
| 経緯                  | 行政からの要請<br>周囲の流れ |

第3図 高岡市調査対象地域(福田六家・鴨島町)

・児童会向けの防災訓練と町内向けの防災訓練  
 ↓  
 日中大人がいない時間帯の避難訓練(2013年)、通学中の避難行動訓練(2014年)

### 2. 射水市 1) 射水市中伏木防災会

第3表 中伏木の災害想定と自主防災組織の概要

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 組織名                 | 射水市中伏木                 |
| 浸水想定(m)             | 2.0~5.0                |
| 地震想定                | 6強                     |
| 津波想定(m)             | 0.3~1.2                |
| 世帯数                 | 113世帯                  |
| 人口                  | 344人                   |
| 面積(m <sup>2</sup> ) | 496,377.70             |
| 高齢化率                | 30%                    |
| 15歳未満人口(%)          | 10.4%                  |
| 結成年                 | 2007年                  |
| 経緯                  | 2006年の庄川の<br>水位上昇による教訓 |

第4図 射水市調査対象地域(庄西町2丁目・戸地区)

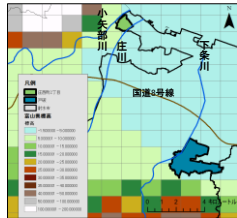
第4表 中伏木防災会の防災活動年表

| 年    | 訓練内容                             | 想定災害     |
|------|----------------------------------|----------|
| 2007 | 緊急連絡・避難時の役割分担                    | 地震       |
| 2008 | 火災発生時の対応                         | 火災       |
| 2009 | 緊急通報連絡避難および避難誘導                  | 地震       |
| 2010 | 緊急通報連絡避難・クイズで防災                  | 全般       |
| 2011 | 緊急通報連絡避難・洪水ハザードマップ               | 洪水       |
| 2012 | 庄西地区 防災訓練<br>夜間防災訓練              | 火災<br>地震 |
| 2013 | 緊急通報連絡避難・津波ハザードマップ<br>によるワークショップ | 津波       |
| 2014 | 緊急通報連絡避難・防災講演                    | 集中豪雨洪水   |

## 2) 射水市戸破地域振興会

第5表 戸破の災害想定と自主防災組織の概要

|             |          |
|-------------|----------|
| 組織名         | 射水市戸破    |
| 浸水想定 (m)    | 0~1.0    |
| 地震想定        | 6強       |
| 津波想定 (m)    |          |
| 世帯数         | 3058世帯   |
| 人口          | 8485人    |
| 面積 (㎡)      |          |
| 高齢化率        | 19.70%   |
| 15歳未満人口 (%) |          |
| 結成年         | 1996年    |
| 経緯          | 阪神・淡路大震災 |



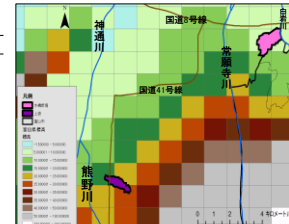
第4図 射水市調査対象地域 (住西町2丁目・戸破地区)

・2010年まで防災員のみによる訓練、2011年以降自助を取り入れた訓練

## 3. 富山市1) 上袋防災会

第6表 上袋の災害想定と自主防災組織の概要

|             |            |
|-------------|------------|
| 組織名         | 富山市上袋      |
| 浸水想定 (m)    | 0~0.5      |
| 地震想定        | 6強         |
| 津波想定 (m)    |            |
| 世帯数         | 646世帯      |
| 人口          | 1541人      |
| 面積 (㎡)      | 410,366.80 |
| 高齢化率        | 23.60%     |
| 15歳未満人口 (%) | 12.1%      |
| 結成年         | 1996年      |
| 経緯          | 阪神・淡路大震災   |



第5図 富山市調査対象地域 (上袋・水橋新堀)

第7表 上袋防災会活動年表

| 年(西暦)防災活動(種別) | 内容                                |
|---------------|-----------------------------------|
| 1996 E        | 7月 上袋日東消防隊発足                      |
| 1997 E        | 8月 会館にて救命救急講習                     |
| 1997 E        | 11月 消防の協力のもと消火器の取り扱い講習            |
| 1998 E        | 8月 防災講習                           |
| 1999 E        | 8月 富山市総合防災訓練参加                    |
| 1999 E        | 11月 富山市総合防災訓練参加                   |
| 2000 E        | 8月 富山市総合防災訓練参加                    |
| 2002 E        | 11月 防災委員会                         |
| 2003 E        | 8月 富山市総合防災訓練参加                    |
| 2003 E        | 8月 防災マニュアルを全世帯に配布                 |
| 2004 E        | 8月 町内総合防災訓練→担架だけが人の搬送、パンプラリー、炊き出し |
| 2004 E        | 8月 富山市総合防災訓練参加                    |
| 2005 E        | 10月 上袋防災会10周年記念                   |
| 2006 F        | 10月 富山市総合防災訓練→消火訓練                |
| 2007 G        | 3月 能登半島地震による防災体制の見直し              |
| 2008 G        | 8月 救急の講習                          |
| 2008 G        | 8月 町内総合防災訓練→消火訓練、炊き出し             |
| 2008 G        | 8月 出前講座                           |
| 2008 G        | 8月 防災会組織検討会                       |
| 2009 G        | 11月 町内総合防災訓練→煙中体験、パンプラリー、炊き出し等    |
| 2009 G        | 12月 富山市自主防災組織連絡協議会準備会出席           |
| 2010 G        | 8月 防災ニュース発行                       |
| 2010 G        | 11月 町内総合防災訓練→煙中体験、パンプラリー、炊き出し等    |
| 2011 G        | 1月 ボンブ放水                          |
| 2011 G        | 1月 5.11を契機として町内会の一時避難場所マップ作成      |
| 2011 G        | 7月 出前講座                           |
| 2011 G        | 8月 町内会と懇談会                        |
| 2012 G        | 10月 町内総合防災訓練                      |
| 2012 G        | 1月 ボンブ放水                          |
| 2012 G        | 1月 防災ニュース発行                       |
| 2012 G        | 8月 富山県防災センター、四季防災観見学              |
| 2013 G        | 8月 災害図上訓練                         |
| 2013 G        | 10月 町内総合防災訓練→避難誘導、火災防災訓練          |
| 2013 G        | 1月 ボンブ放水                          |
| 2013 G        | 1月 防災ニュース発行                       |
| 2013 G        | 8月 避難訓練                           |

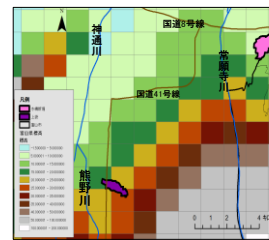
Gの着任以降  
7・8月に出席講座や  
講習会、心肺蘇生  
法、AED使用法など  
10・11月に町内での  
避難訓練

訓練・・・地震と火災  
想定

## 2) 水橋新堀防災会

第8表 水橋新堀の災害想定と自主防災組織の概要

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 組織名         | 富山市水橋新堀                         |
| 浸水想定 (m)    | 1.0~5.0                         |
| 地震想定        | 6強                              |
| 津波想定 (m)    |                                 |
| 世帯数         | 34世帯                            |
| 人口          | 285人                            |
| 面積 (㎡)      | 774,308.60                      |
| 高齢化率        | 70.80%                          |
| 15歳未満人口 (%) | 2.8%                            |
| 結成年         | 2013年                           |
| 経緯          | 町内会の親睦会で<br>防災に関する<br>講習会を行ったこと |



第5図 富山市調査対象地域 (上袋・水橋新堀)

第9表 富山県防災士講習会の内容

| 講習内容          |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| ① 身近でできる防災対策  | (1) 家具等の転倒防止対策 (2) 備蓄品・非常持出品の準備 など  |
| ② 避難方法と対策     | (1) 要援護者の避難方法・対策 (2) 避難所や避難経路の選定 など |
| ③ 自主防災組織活動のつぎ | (1) 組織の編成方法 (2) 平常時と災害時の活動方法 など     |
| ④ 災害に備えて      | (1) 日頃の心構え (2) 被災地等での体験から学ぶ防災対策 など  |

## 4. 自主防災組織の活動実態からみる「地域の特徴」

第10表 自主防災組織の活動

| 訓練名   | 高岡市福田六家 | 高岡市鶴島町      | 射水市中伏木  | 射水市戸破   | 富山市上袋   | 富山市水橋新堀   |
|-------|---------|-------------|---------|---------|---------|-----------|
| 初期消火  | 初期消火    | 初期消火        | 初期消火    | 初期消火    | 初期消火    | 富山県防災士会での |
| 救出、救護 | 救出、救護   | 救出、救護       | 救出、救護   | 救出、救護   | 救出、救護   | 防災士による    |
| 避難所開設 | 防災講習    | 情報収集、伝達     | 情報収集、伝達 | 情報収集、伝達 | 情報収集、伝達 | 防災講習を参考   |
| 避難訓練  | 避難訓練    | 避難訓練        | 避難訓練    | 避難訓練    | 避難訓練    | 避難訓練      |
| 炊き出し  | 炊き出し    | 洪水津波ハザードマップ | 炊き出し    | 炊き出し    | 炊き出し    | 炊き出し      |
| 防災講習  |         |             |         |         |         | 出前講座      |
| 図上訓練  |         |             |         |         |         |           |

訓練項目はどの組織もたい同様  
⇒行政が発行する自主防災組織の活動マニュアルを綴った教材、資料を参考にしているため

防災訓練の内容や訓練方法を見ると、組織によってその活動内容に地域の特徴がある

「地域の特徴」・・・同じ「避難訓練」でも、福田六家防災会では特に災害想定をせず、住民にリュックを担いだ参加をさせていたり、中伏木防災会では津波や洪水を想定した訓練が実施されていたりと地域によって自主防災活動に特徴がみられる

## Ⅲ 自主防災活動において 地域的な特徴が生まれる要因

### 1. 地域に特徴のある自主防災活動が生まれる要因

<想定要因>

- ・町内会の活動が積極的である
- ・参加型で楽しさの含んだ活動をしている
- 要因にはならない

- ・活動をけん引するリーダーが存在する
- ・町内の危険箇所や地形、地盤などによる罹災の危険性を考慮している
- ・自主防災組織の設立経緯(きっかけ)が活動に影響しているなどの要因によって地域の特徴が生まれる

### 2. 各自主防災組織の活動の特色

第11表 各自主防災組織の訓練内容・訓練方法

| 組織名   | 高岡市福田六家                                      | 高岡市鶴島町   | 射水市中伏木   | 射水市戸阪  | 富山県上伏木   | 富山県水鏡新保                            |
|---|--|--|--|--|--|------------------------------------|
| 訓練の趣向に<br>災害想定はしない<br>・訓練時住民は<br>リュックを担いで<br>参加 | ・児童向けの防災訓練と<br>町内全体を対象とした<br>防災訓練をそれぞれ<br>行う | ・設立初期は地震<br>・大震災想定<br>・近年は津波・洪水など<br>住民が関心をもって<br>参加できる訓練を実施 | ・2011年から共同に<br>・2011年から共同に<br>・大震災想定<br>・近年は津波・洪水など<br>取り入れた訓練を実施<br>・規模の大きな体験訓練<br>・40年間の教養訓練<br>・出前講座、図上訓練 | ・地震想定は地震<br>・訓練と大災に<br>対する啓発・<br>体験訓練を実施<br>・40年間の教養訓練<br>・出前講座、図上訓練 | ・地震想定は地震<br>・訓練と大災に<br>対する啓発・<br>体験訓練を実施<br>・40年間の教養訓練<br>・出前講座、図上訓練 | ・富山県防災士会が<br>提供する防災士による<br>防災講座の受講 |

町内会長Aが  
リーダーとなっ  
て防災活動を  
けん引している

子どもの減少  
により、子ども  
も地域との  
関わり合いを  
持たせるため  
として防災活動  
がなされている

地域の罹災  
の危険性が高い  
大災害を  
きっかけとした  
新たな訓練の導入

組織の規模  
が大きい

Gの強いイ  
ニシアチブ  
全国的な  
災害の発生  
組織の設立経緯

Hのリーダ  
ーシップ  
組織の設立  
年数が浅い

### 3. 自主防災組織の類型化による分類と考察

第12表 自主防災活動の個別性に影響する要因

| 組織名                                       | 高岡市福田六家 | 高岡市鶴島町 | 射水市中伏木             | 射水市戸阪 | 富山県上伏木 | 富山県水鏡新保 |
|---|---------|--------|--------------------|-------|--------|---------|
| 活動に強く影響を与える<br>リーダーの存在                    | ○       | ×      | ×                  | ×     | ○      | ○       |
| 地域の子供の減少<br>高齢化の進行が<br>活動に影響する            | ×       | ○      | ×                  | ×     | ×      | ×       |
| 組織の規模・設立年数<br>設立経緯など組織的な<br>要因が活動に影響する    | ×       | ×      | ×                  | ○     | ○      | ○       |
| 大規模災害の発生が<br>きっかけで新たな訓練<br>が取り入れられた       | ×       | ×      | ○                  | ×     | ○      | ×       |
| 地域の地形や地盤による<br>罹災の危険性（地域の<br>災害条件）を踏まえている | ×       | ×      | ○                  | ×     | ×      | ×       |
| 分類  | 社会環境型   | 社会環境型  | 複合型<br>自然環境型+社会環境型 | 社会環境型 | 社会環境型  | 社会環境型   |

中伏木防災会…災害経験があることや、罹災の危険性が高い地形に位置していることが、地域の罹災する危険性のある災害条件を踏まえた活動に繋がっている

**罹災経験をきっかけとした組織の設立** + **罹災の危険が高い地形**  
 = **住民の危機意識の違い** → **自主防災活動の違い**

## V おわりに

- 各自主防災組織の活動実態→訓練内容や訓練方法に地域によって異なる特徴
- 地域による活動の特徴を生む要因→5つの要因
- 5つの要因による類型化→「自然環境型」「社会環境型」
- 自主防災組織の活動の特徴→①地域の罹災の危険性など災害条件による活動は、沿岸部のみでみられる(自然環境型)
- ②自主防災活動は自然要因以外に起因する場合が多い(社会環境型)
- 「自然環境型」「社会環境型」の活動の違い→組織の設立のきっかけ、地域の地形に起因する…住民の危機意識の違い

### <今後の自主防災活動>

- 現在ほとんどの組織で地震想定訓練
- 地震により誘発される災害…火災、津波、倒壊、液状化等
- +台風や豪雨による内水・外水氾濫
- ・講座や図上訓練などの机上訓練に加え、土嚢積みや建物の耐震化対策、台風や豪雨による外水・内水氾濫時の緊急連絡、個々人の適切な判断による避難行動など地域の罹災の危険性を踏まえた実践訓練を日ごろから行うことがますます必要である

